

事業計画概要書

区分	その他(破碎・圧縮固化)	
廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず	
施設の設置場所	秋田市河辺戸島字七曲台120-95	
処理方式	小型RPFユニットFR600-2(富士車輛製)に混合廃棄物を投入し破碎。その後、磁選機にて金属残渣を除去し、成形機にて圧縮固化しRPF化。	
処理能力・稼働時間	処理能力 : 6.84 トン/日 (廃プラ) 6.00 トン/日 (木くず) 7.32 トン/日 (混合処理) 稼働時間 : 8:00~20:00 (12時間)	
保管施設	保管施設の面積	処理前 : 75.6㎡ (床に黄線を引いて明示) 処理後 : 86.4㎡
	保管施設の能力	処理前 : 113.4m <sup>3</sup> (面積75.6㎡×高さ3.0m÷2) 処理後 : 207.4m <sup>3</sup> (面積86.4㎡×高さ2.4m)
	保管方法	処理前 : 建屋内(混合廃棄物) 処理後 : 屋外(フレコンバッグに封入)
	保管期間	最長14日間
中間処理後の廃棄物の種類および処分方法	RPF成形品 : 製品として売却 残渣 : 産業廃棄物として処分	

排ガスの処理方法	排ガス・ばい煙等の発生なし
飛散・流出防止措置	建屋内に処理施設を設置し、飛散・流出防止措置とした。
騒音・振動防止措置	生活環境に著しい影響を与える騒音および振動の発生なし 発生した場合は適切な対策を講じる。 騒音規制目標値 65db以下(騒音予測レベル51db) 振動規制目標値60db(振動予測レベル52db)
地下浸透防止措置	建屋内に処理施設を設置し、床部は150mmのコンクリート仕上げとし、地下浸透防止措置とした。
悪臭・害虫防止措置	建屋内に処理施設を設置し悪臭・害虫防止措置とした。 発生した場合は防臭剤・防虫剤を適宜使用